

指定管理者による公の施設の管理状況評価（令和7年度分）

施設	名 称	栃木市老人福祉センター 福寿園
	所 在 地	栃木市千塚町210
	施設内容	老人福祉センター
指定管理者	名 称	社会福祉法人 栃木市社会福祉協議会
	所 在 地	栃木市今泉町2-1-40
	主な業務内容	地域福祉推進事業、介護保険事業、障害者総合支援法に基づく事業

（１）平等利用の確保とサービス向上の取組み

評価要素	①	施設の設置目的や特性に基づいた施設運営の基本方針が明文化され、職員が適切に理解しているか					
	②	施設予約や利用方法等について、市民の誰もが利用しやすい利便性と平等性確保の配慮がなされているか					
	③	アンケート調査等により、利用者等の意見を把握し、運営に反映させる取組みを行っているか					
	④	利用者等からの苦情や意見などに対し、適切な取組みを行っているか					
管理状況評価指標	指標名			計画値		実績値	
	利用案内揭示数			4か所		4か所	
	アンケート数			150人		119人	
	利用者満足度			90%		86.6%	
	参加者満足度			90%		97.1%	
	参加者意見反映数			3件		3件	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	25	Ⅱ	0.8	20	Ⅱ	0.8	20
指定管理者コメント	①管理運営指針を事務所に掲示し、職員の共通理解を深め、指針に基づいた管理運営が行われるよう心がけました。 ②3園共通の利用券の発行、減免カード（障がい者・要介護認定者・生活保護受給者等）の発行と共に、団体の利用申請は条例等に基づき、公平公正な対応を行い、助言をしながら申請受付及び利用承認をしました。 また、正面玄関等の開館時間や休館日の案内を見やすく掲示し、利用者の立場に立ち、安全に安心して利用できるように施設運営を行いました。さらに、ふれあいバスや蔵タクに関する情報提供を丁寧に行い、利便性の向上を図りました。 ③利用者アンケートでは、アンケート回答者数・利用者満足度共に計画値をわずかに下回りましたが、多くの方々から高い評価をいただきました。また、アンケート内のご意見については、トイレや外灯など本園単独で対応できるものは迅速に対応し、カラオケなど、各園と調整が必要なものについては、園長会議で対応を協議した上でご意見を反映しました。 ④講座の参加者アンケートでは、アンケート回答者数・利用者満足度共に計画値を上回ることができました。引き続き講座を利用したい・続けてほしいというご意見をたくさんいただいたため、急遽短期講座を追加する等の対応をいたしました。						
施設所管課コメント	ふれあいバスの案内や蔵タクの情報提供なども行い、利用者目線で丁寧に対応していることが窺える。施設の利用者満足度が計画より若干下がったが、講座等への参加者満足度が97.1%と高い数値を示している。 また、アンケートの意見内容によっては、迅速な対応ができていることは評価できる。 講座についても、リピーターがつくような人気となる新たな講座を設けただけでなく、追加で講座を行うなど利用者ニーズを的確に把握できることは評価に値する。						

(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み						
評価要素	①	施設の設置目的に基づいた事業計画通りに管理運営をしているか				
	②	広報活動等（広報紙、ケーブルTV、ホームページ、SNS等）による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか				
	③	開館時間の延長及び新規事業等による新規利用者の増加に向けた、効果的な取組みを行っているか				
	④	地域住民や関係団体等との連携や協働による事業等、利用者や地域住民の満足度を高める取組みを行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	R7年度利用者数			15,381人	15,283人	
	記事の掲載回数			5回	23回	
	利用者増加につながる新規事業			4回	9回	
	協働事業数			5回	13回	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	Ⅱ	0.8	16	I	1.0
指定管理者コメント	①「広く市民が利用する公の施設」「市民から支えられている公共性の高い団体」であることを意識しながら業務に専念しました。身体の不自由な方には、移動する際の車いすやシルバーカー等の貸出しを行い、転倒リスク軽減を図り市の福祉向上に寄与しました。本会の特性を活かし、福祉介護相談を随時行い、家族や包括支援センター、関係機関と連携を図りました。 ②施設を市民に知っていただくために、市広報誌や本会ふくびーだより、本会ホームページに各種講習会やイベント、開園カレンダーを掲載しました。また、受付窓口等に施設のパンフレットを置き、周知を図りました。 ③利用者の利便性を高めるために、開館時間、入浴時間の延長を継続しました。 回数券購入者へのサービスとして、回数券の綴りを5つ貯めると1日無料とするサービスを継続して実施し、好評を得ました。また、回数券を入れるケースを手作りし、無料で利用者の方に配布しています。 県民の日や敬老の日は無料開放を行い、多くの方に利用してもらい好評でした。12月31日には甘酒をふるまい、1月4日には、新春くじ引きを行い、利用者を増やす働きかけを行いました。 新規事業として、好評だった健康教室の短期講座としての追加、音楽鑑賞会等を開催し、新規利用者を開拓できました。 ④吹上地区包括支援センターと協力し、元気アップ教室を行い、市民の健康増進を図りました。また、吹上地区まちづくり協議会の委員として、花いっぱい運動等に協力し、パンジーの花植えや除草作業の手伝いをしました。 こどもの居場所の児童に、センターのお風呂を利用していただき、世代間交流を図りました。また、児童が利用者に積極的に挨拶することで、顔見知りの関係になりました。 また、認知症の方・家族・地域住民等が誰でも自由に参加できる集いの場「おれんじ喫茶ふくじゅ」を継続して開催しています。					
施設所管課コメント	利用者数は、目標に若干満たないものの前年比では107%と増加している。吹上包括との協働事業の実施や地域との交流も積極的に行っており、地域や関係機関との連携を上手に図っていることがうかがえる。 また、他の老人福祉センターにはない、こどもの居場所の児童との交流を図るなど、地域共生社会の実現を図る中で、施設としてできるものを進めてくれている。					

(3) 施設経費の削減の取組み						
評価要素	①	指定管理料、利用料金等の収支手続について、適切で透明性の高い管理をしているか				
	②	サービスの質を確保した経費削減の取組みを行っているか				
	③	清掃、警備、保守点検など、業務の一部委託等をする場合、複数業者からの見積合わせなど、経費削減等に考慮して適切に行っているか				
	④	施設、備品等の管理について、適切に維持管理し、省エネ、省資源、環境配慮物品の購入など環境への配慮を適切に行っているか				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	水道光熱費削減額			602,100円	787,649円	
	経費削減率			10%	13%	
	業務委託の際の見積合わせ実施件数			15件	15件	
	燃料費の見積もり合わせ回数			12回	12回	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	15	Ⅱ	0.8	12	Ⅱ	0.8
指定管理者コメント	①指定管理料の収支手続は適正に行い、不正がないようにしました。定期的に運営状況報告書を作成し、施設点検を定期的にを行い、運営状況報告書等は毎月、施設点検報告書等は四半期ごとに市へ提出しました。 運営管理上の問題等は園長会議で検討したり、市や長寿園、泉寿園と相談し連携を図りました。 ②館内に節電や節水の張り紙をして、周知徹底を図り、利用者にも協力をしていただきました。両面コピーやミスコピーの裏面は積極的に使い、また、再生紙を購入するなど環境に配慮しました。使っていない部屋の電気をこまめに消す、閉園時はトイレの便座ヒーターを消すなどして、電気代の抑制に努めました。 ③本会経理規定に基づき業務委託事業15項目について、複数の業者から見積書を徴し十分に必要性を吟味した上で業務委託を決定する等、経費削減に努めました。また、故障やトラブルがあった際には迅速に委託業者へ連絡して、極力利用者が帰った後や定休日に修繕を行い、危険や不便がないように配慮しました。 A重油業者の見積もり合わせを毎月行い、安価な価格を提示した業者から購入しました。 ④書類の処分について、個人情報の部分を切り取り、シュレッダーをかけ、その他は再生紙のゴミとして分別しました。ゴミの分別は適切に行い、清掃用の消耗品等は大容量の物を購入することで、購入費の削減につなげました。浴槽へのお湯はりの際には継続して保温シートを使い、沸き上がりの効率を上げて冷めにくくしたことから、燃料費の抑制につなげました。					
施設所管課コメント	事務経費の削減に関しては、物価上昇や燃料費等の高騰で厳しい経営環境を強いられているなか、できる限りの節約に努めている。園長会議を通しての園長の発言等を聞いていると、削減には十分取り組んでいると理解できる。その他の項目に関しても適切に行っていた。					

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み						
評価要素	①	施設の適正管理に必要な職員の配置及び管理運営体制が確保されているか				
	②	職員の望ましい勤務形態及び育成指導、研修等が十分に確保されているか				
	③	職員の福利厚生は充実しているか				
	④	団体の財政状況等は健全であるか <別紙参照>				
	⑤	各種税金や社会保険料等は適切に納められているか。				
管理状況評価指標	指標名			計画値	実績値	
	園長会議に参加しての改善数			3件	5件	
	人員配置数			4人	4人	
	研修会開催			4～6回	7回	
	勤務時間数（1人あたり）			38.75時間/週	38.75時間/週	
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）	
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅱ	0.8
指定管理者コメント	①施設を管理する者に、防火管理者・社会福祉士・危険物取扱者・衛生管理者の資格を有する者を配置しました。また、全体として、運営体制に定められた人員を配置し、本会就業規程を遵守しながら業務を忠実に遂行しました。 ②老人福祉センター長寿園の職員との合同研修として普通救命講習Ⅰを受講し、人工呼吸法やAEDの使用法等、老人福祉センターの利用者に万が一が起きた際の緊急時に備えました。 アンガーマネジメント研修や個人情報保護研修、BCPに基づく感染症対策訓練等、職員個人の資質向上やセンター運営に資する研修を、計画値を上回る回数受講できました。 ③職員には希望する休暇（公休、有給、夏季休暇）を取れるような体制を整えました。また、健康診断等も法人の福利厚生の仕組みの中で、全員受診できました。					
施設所管課コメント	講習会に関しては、長寿園の職員と合同で受講し万が一の緊急時に備えている。また、積極的に研修や訓練を受けることで職員各々の資質向上、知識を深めることができたは評価できる。施設の管理に関しても必要な資格を持つ者がおり、適切に施設管理が行われている。					

(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み							
評価要素	①	日常の安全点検及び法定点検等の安全対策を行っているか					
	②	緊急時の危機管理体制等が確立されているか					
	③	避難訓練や防災訓練を適切に行っているか					
	④	具体的な個人情報保護対策を行っているか					
管理 指標 状況 評価	指標名				計画値		実績値
	定期安全点検実施件数				12回		12回
	消防訓練実施回数				2回		2回
	個人情報保護研修の実施				1回		1回
評価	配点	第1次評価（指定管理者評価）			第2次評価（施設所管課評価）		
		評価ランク	評価指数	評価点	評価ランク	評価指数	評価点
	20	Ⅱ	0.8	16	Ⅱ	0.8	16
指定 管理者 コメ ント	①毎日の点検の他、自己点検チェックシートに沿って毎月点検し、必要に応じて報告するとともに、四半期ごとに施設点検報告書を提出し、状況把握に努めました。施設の管理瑕疵に係る損害賠償保険に加入し、不測の事態に備えました。また、休館日や夜間など職員不在時の警備は業者に委託して対応しました。 ②消防設備については業者に委託し、年2回の点検を実施しました。 デイサービス福寿園職員、利用者、こどもの居場所職員等と合同で避難訓練を2回/年実施しました。 避難訓練では、避難経路や避難の手順について確認し、水消火器による消火訓練等も実施して安全対策を講じました。避難時の職員の役割をその都度変更し、誰もが火災の際に対応できるよう確認をしました。 ③利用者からお預かりした緊急連絡先等の個人情報については、本会の個人情報保護規程に基づき職員に対して重要性や管理方法の周知徹底をし、情報が外部に漏洩しないよう適切に管理しました。 ④職員間で会話をするときは、常に利用者がいることを意識して、個人情報が漏れることのないように心掛けました。						
施設 所管 課 コメ ント	BCP計画に基づいた訓練を実施している。また、個人情報の管理に関しても適切に行っている。						

評価結果	配点	第1次評価点 (指定管理者評価)	第2次評価点 (施設所管課評価)	第3次評価点 (選定委員会評価)
(1) 平等利用の確保とサービス向上の取組み	25	20	20	21.1
(2) 施設の効用を最大限に発揮する取組み	20	16	20	18.4
(3) 施設経費の削減の取組み	15	12	12	13.0
(4) 施設の管理を安定して行うための取組み	20	16	16	16.6
(5) 施設の安全対策、危機管理体制の取組み	20	16	16	16.4
評価点合計	100	80	84	85.5
総合評価		A (優)	A (優)	A (優)

第3次評価（選定委員会評価）	
選定委員会コメント	・ 堅実・安定的な運営が継続され、利用者満足度につながっている点は評価したい。利用者を増やすよりも満足度を上げることに重きをおいた運営をしてもらいたい。 ・ 認知症カフェを始めとする継続事業の拡大や新規事業を積極的に実施し、利用者数の増加に取り組んでいる点は評価したい。今後は同じ施設内にある”子どもの居場所”との交流事業なども検討してもらいたい。 ・ 光熱水費の節減や修繕経費の抑制に努めている点は評価したい。老朽化に伴う設備の修繕等は、今後とも市と連携し適宜実施してもらいたい。 ・ 資格を保有している職員を配置し適正に管理に努めているとともに、救急救命講習やアンガーマネジメント研修など、実務内容に即した研修を実施している点は大いに評価したい。

(4) 施設の管理を安定して行うための取組み

《 別 紙 》

⑤ 団体の財政状況等は健全であるか

直近3ヵ年の情報を記入してください。

決算年次	令和5年3月期	令和6年3月期	令和7年3月期
資産総額	1,965,766,261	1,962,114,735	1,911,724,704
売上高	807,520,501	804,065,009	771,564,514
経常利益	△ 78,435,421	△ 66,888,293	△ 84,141,671
当期利益	△ 78,285,914	△ 72,810,722	△ 88,902,151
経常収支比率	91.2%	92.3%	90.2%

※ 経常収支比率について

本指標は、会社の資金繰りの実態を示す指標です。

この数値が100%未満であると銀行借入などをしなければ営業活動ができなくなるといわれているものであり、経常損失が生じていることを意味します。

決算年次	令和5年3月期	令和6年3月期	令和7年3月期
経常費用	888,350,143	872,437,597	857,435,842
経常収益	809,914,722	805,549,304	773,294,171
経常収支比率	91.2%	92.3%	90.2%

○経常収益（営業収益＋営業外収益）÷経常費用（営業費用＋営業外費用）×100で求めます。

指定管理者コメント

都賀支所移転に伴い、全体的な事務事業及び組織の更なるスリム化を進めたことにより、事業費支出と事務費支出を削減することができました。しかしながら、令和6年度においても本会全体の財務状況は、依然として収益事業の実績が思わしくなく、介護保険事業収益や障がい福祉サービス等事業収益の減により経常収益の減少が続いております。繰越金があることも考慮すると、現時点で組織全体の運営に支障はありませんが、経営の安定化に向け、職員全体でコスト削減と収入源の確保に向けて取り組みを継続いたします。